

## 資産運用レポート：株式投資家のゴール

### 1 はじめに

投資家にとっての理想は、いつでも仕事をやめて、自由な人生を楽しめる「投資で暮らせる」立場になることです。

そこで皆さんにお聞きします。「投資で暮らせる」ようになるための具体的なプランをお持ちでしょうか？

不動産投資では「家賃収入で暮らせる」大家さんになるという明確な目標があります。サラリーマンを続けながら、その実現に向かって着々と物件を増やしている人も多いと聞きました。

一方、株式投資では、何をすべきかが曖昧です。事前に「毎年、いくらの家賃収入が得られるのか」想定できる不動産投資に対して、株の売買でどれだけ儲かるかは相場次第で、1年が終わってみなければ分からないからです。

このような状況では一生、売買という労働を続ける必要があり、いつまで経っても「投資で暮らせる」立場になることができません。

今回の資産運用レポートでは、株式投資家のゴールについて思案してみます。

### 2 億り人になればOKか？

最近「億り人」という言葉が定着しました。「株式投資で1億円を達成する」ことを目標にしている方もいらっしゃるかと思います。

しかし、ただ単に1億円を達成しただけでは「投資で暮らせる」わけではない点に注意が必要でしょう。その後も毎年のように、株で生活費を稼ぎ続ける必要があるからです。

「質素な生活を送り、250万円ずつ取り崩せば、40年も暮らせるはないか」と考え方もあります。でもケチケチしてしまい、自由な人生を楽しめるとは言い難いです。だいいち、インフレになれば予定が狂ってしまいます。

この問題に直面しているのが私自身です。2017年に1億円を達成できたものの、いつでも仕事をやめられる立場ではありません。特に今年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて売上が落ち込み、頭を抱えている状況です。